

学 校 通 信



第9号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/shira-j/>

鈴鹿市立白鳥中学校

第5回学校運営協議会

12月1日(木)、今回の学校運営協議会では、「特別支援教育・個別の支援」「不登校支援」について、委員の皆様と熟議を行いました。

- ・保護者は小学校に就学するときに、選択のことで非常に悩むことがある。子どもの現状によって、どちらが良いか、直接相談するために、小学校を訪問していた。
- ・(新聞に記事によると)無気力・不安・保護者とのかかわり・非行・友人関係・生活リズムのみだれが割合を占めている。生活の乱れが大きな要因ではないかを感じる。
- ・(新聞記事に載っていたが)支援の依頼のフォーマットが便利。チェックリストがあり、そのフォーマットを通じて、学校に的確に伝えることができるそう。
- ・保護者も色々悩むので、保護者との連携は欠かすことができないと考える。
- ・校内の適応指導教室を開設するためには、校内の教師は余分に授業が増えているので先生の多忙化にはつながっているようには思うが、子どもたちにとっては非常に大事な取り組みのように思う。

白鳥中学校区生指連協及び合同地区補導

11月28日(月)、白鳥中学校区の学校(白鳥中、加佐登小、石薬師小、井田川小、庄野小、鈴西小、加佐登幼)と、各地区の主任児童員の方、鈴鹿市保護司会の方が集まり、学校や地域での子どもの様子を情報交換し、その後、各地域の補導(見回り)をしました。

《教育委員会から～鈴鹿市の様子》

- 不審者について：本年度64件
→声かけ、つきまとい、スマートフォンで撮影されたかもしれない等
- 交通事故について：本年度42件
→4月の交通事故が多い、この時期日没の時の事故も増えています。
- 問題行動について：本年度104件
→感情がコントロールできず、暴言暴力となってしまう事例が増えてきています。
SNSを通じてのトラブルが増えてきています。

薬物乱用防止教室

11月25日(金)、教育委員会の先生を講師に招いて、3年生では「薬物乱用防止教室」を実施しました。教育委員会の先生と3年生学年主任の上原先生の劇を見ながら、「薬物を勧める手口や乗ってはいけない勧誘フレーズ」について考えました。



《乗ってはいけない勧誘フレーズ》

- ・大丈夫、みんなやってるし。
- ・問題ないって、試してみない？
- ・1回くらいやったら、大丈夫やって
- ・1回でやめといたらいいし。
- ・おれのこと、信用できへんの？

どれだけ仲のよい友達から誘われても、はっきりと断ること。断る勇気がない時は、用事があるからと、その場を去ることを知ったので、今後そうしようと思います。

薬物は1回でもやったら、やめられなくなると分かったので、軽く考えずに、自分の一生にかかわってくることと思いきっぱりと断らなくてはいけなかったと思います。

薬物って聞くと麻薬などのイメージがあったけど、(一般に市販されている)薬でもそういうことになることを初めて知りました。気を付けようと思いました。

スクール・サポート・スタッフ

昨今、学校での活動が多様化していく中で、教職員だけでは、生徒の活動を十分サポートできないことが増えてきました。そこで、外部から学校をサポートしていただく方がたくさんいます。今回は「スクール・サポート・スタッフ」という方を紹介します。

学校の先生の仕事には、授業、朝・帰りの会、給食・掃除指導、部活動の指導以外にもたくさんの仕事があります。例えば、授業の内容を少しでもわかりやすくするためにプリントを使うためには、印刷等の準備が必要です。また授業の中で、小テストしたら、その後、採点をします。このように学校の色々な活動のために、生徒の皆さんに見えないところで、学校のサポートをしてくれています。



年末・年始の学校閉校日について

学校閉校日 12月28日(水)～1月4日(水)

*閉校日の期間は、留守番電話対応となります。電話は1月5日(木)の8時30分以降でお願いいたします。

*冬休み期間(閉校日以外平日)の留守番電話対応は午後5時～朝8時30分となります。